

取扱説明書

Version 1.0. a

GoPro スマホ両対応手ぶら自撮りアーム
「ちょっと撮って手」
型番：GPRBACK4



保証期間：12ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

サポートのご案内

■ 修理のご案内

動作しない、お買い上げ時から問題が発生しているなどの場合は、ご連絡不要にて対応をさせていただきます。症状を記載したメモ、購入日が確認できる納品書やレシート、商品を下記住所までご送付ください(お届け日より1週間以内の場合は、初期不良として着払いにてご送付いただけます)

記載内容に不備がある場合、新しいマニュアルを公開している場合がございます。ダウンロードページをご確認ください。

<http://www.thanko.jp/support/download.html>

ご質問などが多い内容については、Q&Aページに記載している場合がございます。

<http://www.thanko.jp/support/qa.html>

■ メールでのお問い合わせ

お客様の御名前、商品名、お問い合わせ内容を記載し、下記アドレスまでご連絡ください。

support@thanko.jp

※使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷に関してはサポート外となります。

サンコーカスタマサポート(修理品の送付先)

〒101-0021

東京都千代田区外神田4-9-8 神田石川ビル 4階

TEL 03-3526-4328 FAX03-3526-4329

(月~金 10:00-12:00、13:00-18:00 土日祝日を除く)

● 仕様

サイズ	バックパック：幅200×奥行125×高さ370(mm) ポール大：直径27×長さ420(mm) ポール中：直径26×長さ363(mm) ポール小：直径26×長さ113(mm)
重量	バックパック：927g ポール大：166g ポール中：134g ポール小：58g
対応カメラ	GoPro HERO4 Session, HERO4, HERO+ HERO3各種, HERO2, iPhone 6s/6 Plus, 6s/6, SE, 5s/5など、厚さ12×幅75(mm)以下のスマートフォン
内容品	バックパック、ポール大/中/小、ポール取付用GoPro マウント(セット済み)、スマートフォンホルダー (GoProマウント付き)、ジョイントリングロック×3 (1つはセット済み)、六角レンチ、ポール用ソフトケース、 日本語取扱説明書

⚠️ ご注意

- カメラ (GoPro, iPhone, スマートフォン) は付属しません。
- 本製品をご利用において生じるカメラ (GoPro, iPhone, スマートフォン、データ含む) の破損は、補償の対象外となります。
- 物を入れるためのバックパックではありません。入れた場合、物の破損は、補償の対象外となります。
- 周りに十分気を付けて、ご使用ください。
- 落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 高温/多湿/火気近くで保管、使用しないでください。
- 小さなお子様の手が届くところで保管、使用しないでください。

● 各部名称



- ① ポール用ソフトケース
- ② ポール取付用 GoPro マウント (セット済み)
- ③ ジョイントリングロック ×3
(内1つはバックパック内にセット済みの場合があります)
- ④ 六角レンチ
- ⑤ スマートフォンホルダー (GoPro マウント付き)
- ⑥ ポール大
- ⑦ ポール中
- ⑧ ポール小
- ⑨ バックパック

● 組み立て方



バックパックを開き、ジョイントリングロックをセットします。
※セット済みの場合があります。



ジョイントリングロックのセットする方向にご注意ください。フチがない側からポールにセットします。



ポール小を差し込みます。ポールの差し込み側は、直径が細くなって切り込みがない方です。



ポール小にジョイントリングロックをセットし、ポール中を差し込みます。



ポール中にジョイントリングロックをセットし、ポール大を差し込みます。



一度、セットしたいカメラ位置になるよう各ポールの角度調節をします。



3つのジョイントリングロックのレバーを折りロックします。



カメラ (GoPro またはスマートフォン) をセットします。カメラの垂直角度 (チルト) 調節もここでを行います。



付属の六角レンチを使い、回転角度 (ロール) 調節とポールのつまみネジで、水平角度 (パン) 調節が行えます。

ポールのつまみネジを緩めすぎると、内側のナットが外れてしまうのでお気を付けてください。

● その他のセット例



カメラが後方少し斜め位置になるようにセットし、少し俯瞰のTPS視点撮影。



カメラが一番高い位置になるようにセットし、高い視点から撮影。